

紙ひこうき

校長室だより NO.4

令和元年6月5日
有田川町立石垣小学校
文責 校長 川口 澄

『よく考える子、心豊かな子、たくましい子』（教育目標）
～いきいき・のびのび・きびきびと みんな仲良く 楽しい学校～

心をこめた「あいさつ」を

「ありがとう」の言葉を考えてみます。誰かに親切にした時、自然に返された「ありがとう」は、大変気持ちのよいものです。「ありがとう」は、「有り難い」「有り得ない」と言う意味がはじまりだったそうです。「なかなかありそうもない」「珍しい」ことから、後々には、「身にしみてうれしい」という、お礼や感謝の気持ちを表すことに変わっていったのだと言います。相手の行為を素直に受け、心をこめて「ありがとう（ございます）」と言えるように、そして相手から「ありがとう（ございました）」と言ってもらえるような思いやりのある行動がとれるようになってほしいものです。

石垣小学校は、今年度も「あいさつ・返事」の指導をしています。児童会も、月・水・金の登校時に「あいさつ運動」に取り組んでいます。「オ：おはよう・ア：ありがとう・シ：失礼しました・ス：すみません」を素直に言葉に出して言えた時、互いの思いが伝わり合います。素直に感謝の言葉を返すことができることは、大切なことです。

心を込めて言葉を発するためには、相手への「思いやり」が必要です。心を込めてのあいさつができることをめざしています。

安全について学習しました

5月15日（水）に火災避難訓練、24日（金）に集団下校の練習、28日（火）に交通安全教室を実施しました。

火災避難訓練は、家庭科室から出火したという想定のもと、全員が運動場に避難しました。おしゃべりをしながら避難する児童は一人もなく、運動場に早く避難することができました。煙を吸い込まない工夫であるハンカチで口元をおさえることもできました。

集団下校は、地区毎に高学年児童が下級生に指示を出しながら行いました。玄関にすぐに集合することができ、



整列も整然と行えました。

交通安全教室には、和歌山県警察本部交通安全課の安全教育係（通称：ひまわり隊）から4名の方に来ていただき、指導をしていただきました。雨天で、運動場で予定していた自転車の乗り方や歩行の実技指導はできませんでしたが、体育館で防犯に関すること、交通ルールや自転車の乗り方等の話を聞いた後、標識クイズを楽しんだり、危ない自転車の乗り方が引き起こす悲劇について学んだりしました。石垣小学校は、危険が迫った時の身を守る行動やルールを守ることの大切さを指導していきます。理解するだけでなく、体でも覚え、それが習慣化することを目指しています。



おいしい体験をしています

今年も、5月27日（月）に中井国博さんのビニールハウスで4・5・6年生が「イチゴ狩り」をさせていただきました。摘みながら食べるイチゴの味は格別で、その甘さにうっとり、おなかがいっぱいになるまでイチゴをほおばりました。

また、5月30日には、水野幸夫さんが全校児童にクリスピーホワイトというトウモロコシをプレゼントしてくれました。クリスピーホワイトは実が白いトウモロコシで、生で食べることができます。冷蔵庫に冷やしてから食べると冷たさと共に甘さが口いっぱいに広がります。トウモロコシの甘い香りに初夏の訪れを感じました。

中井様、水野様、本当にありがとうございます。

